

Tokai

広報とうかい
村民の叡智が生きるまちづくり

January [No.803]

1・10

Bi-monthly Magazine
for The People of Tokai

2012年 [平成24年]

Contents [1月の主な話題]

- 平成24年新春座談会…………… 2

震災の記憶

～経験をまちづくりに生かす～

- 選挙のお知らせ……………10

1月22日(日)は東海村議会議員
一般選挙の投票日です

- 「ひたちなか・東海クリーンセンター」……………11

5月からの本格稼働を目指しています

- 新・教育長、新・教育委員を紹介します……………12

- いんふおめーしょん……………18

「償却資産」の申告期限は1月31日(火)です、
東海村臨時職員募集ほか

- 成人の日インタビュー……………22

[石神内宿]益子由佳さん (「2012東海村成人の集い」
実行委員会副実行委員長)



震災の記憶

～経験をまちづくりに生かす～

平成23年3月11日に発生した東日本大震災——東海村でも震度6弱の揺れに見舞われ、各方面に深い傷を残しました。この経験をどのように生かせばいいのか…村では「東日本大震災の教訓を活かしたまちづくり推進プロジェクト(仮称)」を立ち上げて検討を始めています。

平成24年の新春座談会では、世代や立場の異なる6人が集い、“それぞれの震災体験”を語り、皆で共有する中から新たなまちづくりへの足掛かりをつかもうとしました。

ぶいさつ



むらかみ たつや
村上 達也

東海村長●平成9年以來4期目。徹底した住民参画で策定した「第5次総合計画」を平成23年4月から開始している

村長 ●明けましておめでとうございます。昨年のことを考えると、何よりも震災を経験したということだと思えます。この震災はまさに驚天動地——そう言っても言葉が足りないような大災害でした。村長に就任して14年、私が経験した大きな災害といえば平成12年のJCO臨界事故です。それに比べて、この震災は全村そして周辺地域も被災するという大規模な災害でしたので、全く異なる対応を迫られました。

初めての経験に役場職員も寝食を忘れ、一生懸命取り組みましたが住民側から見ると不十分な点が多々あったかと思えます。その中で民生委員・児童委員協議会の皆さん、自治会の皆さん、ボランティアの皆さん等々、たくさんの村民の方が行政の及ばない部分を補ってくださり、本当に感謝しています。

阪神・淡路大震災の教訓を基に、日本全国が防災対策を進める中、村でもさまざまな強化策を検討してきましたが、体験の中から多くの課題が挙げられています。第5次総合計画ではそ

河野 ●明けましておめでとうございます。私は平成22年12月に、村の民生委員・児童委員協議会



かわの すすむ
河野 進

東海村民生委員・児童委員協議会会長●花屋を経営する傍ら白方区の民生委員・児童委員として活動する／白方中央在住

の点について「重要総合プロジェクト」として、重点的に取り組んでいこうとしています。

本日は、皆さんにこの震災で体験したことや感じたことなど、忌憚のない意見をお伺いしたいと思っておりますのでよろしくお願ひします。

■東海村第5次総合計画■

10年後も持続可能で真に豊かな東海村にするための総合的な計画として平成23年4月からスタート。「村民の叡智が生きるまちづくり～今と未来を生きる全ての命あるものために～」を基本理念に掲げる。

■重要総合プロジェクト■

政策・施策が複数の分野にまたがるものを総合的に推進するプロジェクト。

震災後、第5次総合計画を具体的に計画する「実施計画」の見直しを実施し、「重要総合プロジェクト」として新たに「東日本大震災の教訓を活かしたまちづくり推進プロジェクト(仮称)」を立ち上げて「復興支援の強化」「災害に強いまちづくり」「生活スタイルの転換」を推進している。



〔民児協〕の会長に就任しました。会長になって早々、この大震災に遭遇し、今までに経験したことのないような体験をしました。JCO臨界事故は一部の地域の避難でしたが、全村にわたる今回の震災は私たちが考えていた以上の、まさに想定外のことばかりでした。今後は、この体験を踏まえて、要支援者の安否確認や避難誘導、さらに避難所支援等を、村内65人の民生委員・児童委員が、それぞれの担当地域内で力を発揮できるような仕組みにしていきたいと考えています。



はしもと たかし
橋本 徹

豊岡区自治会長 ● 久慈川沿いの低地に位置する豊岡区をまとめる。災害時は避難等の陣頭指揮に当たる／豊岡在住

橋本 ● 明けましておめでとうございます。去年は震災・台風と災害に見舞われた一年でした。私たちは村の東側の低い所に住んでいるので、昔から久慈川の氾濫を体験し、その恐怖と危険性を知っています。しかし、今回の震災は津波が集落まで迫り、さらに1キロメートル先の原子力発電所では原子炉が停止、津波による被害もあるなど、自然災害の恐怖をあらためて感じました。この震災の体験から、さまざまな課題や問題点が浮き彫りになりましたので、集落内では、どのように防災体制を整備するか話し合いを始めたところです。



すずき ゆみこ
鈴木由美子

東海南中学校PTA副会長 ● 高校3年生と中学3年生の娘の母。経験から、PTAでも新たな活動を検討中／舟石川在住

鈴木 ● 明けましておめでとうございます。私は震災当日、一主婦として、自分の生活や自分の家庭を守ることとで精一杯でしたので、村全体、そして地域住民のことを考えて行動されていた方がいたということに感銘を受けています。今日は皆さんのお話を聞き、家庭や学校に持ち帰り、実りあるものになりたいと思います。



けむりやま のぞみ
煙山 希

専業主婦 ● 小学校2年生の息子と4歳の娘の母。災害時は出張により夫が不在、不安な2日間を過ごす／東海在住

煙山 ● おめでとう...というより、「皆さん無事でよかったです」という言葉を私のあいさつとさせていただきます。震災を振り返ると、本当に恐ろしい体験をしたなと思います。そして、さまざまな不安もありましたが、たくさんの方に助けられたと感じています。本日は、よろしくお願ひします。



ねもと いよ
根本 唯世

常磐大学コミュニティ振興学部在学 ● 震災後は積極的に、村や県外へのボランティア活動に参加／竹瓦在住

根本 ● 明けましておめでとうございます。このような大きな震災を初めて体験し、不安もたくさんありましたが、この震災を通して感じたことや体験したことを生かし、若い世代として何ができるかを考えていきたいと思っています。どうぞよろしくお願ひします。



おがわ ようじ
小川 洋治

東海村経済環境部長 ● 災害時は福祉部長として災害対策本部で対班・福祉班・医療班のかけ取りを務める／司会

小川 ● 明けましておめでとうございます。本日は司会を務めさせていただきます。早いもので震災から10か月が経ちます。今日出席された皆さんも、異なる場所、異なる立場で被災し、さまざまなことを感じてきたと思います。本日は、皆さんにその体験を語っていただき、「それぞれの震災」を共有することで、今後につなげていきたいと思っています。よろしくお願ひします。

地震発生——その時……

それぞれの体験談

煙山●地震が発生した時、私は、4歳の娘を昼寝させるところでした。いろいろな物が落ち、娘は怖がって大声を上げていました。「大丈夫だよ」と言う私の声も震えていたので、子どもにきちんと伝わるだろうか、親として子どもを守らなくてはいけないのに……どうしよう、どうすればいいんだという思いでした。小学2年生になる息子は、ちょうど下校途中でした。これまで、校内での避難訓練はしていましたが、登下校中に何かあったときのことは話し合ったこともありませんでしたので心配しました。結局、防犯パトロールの方が自宅まで送ってきてくださり、地震の時も、塀につかまっていた息子に近所の方が「そこは危ないから広い所に避難しなさい」と声を掛けてくださったようで、助けられたことがたくさんありました。

鈴木●私は、ちょうど授業参観日で中学校にいたので、中学生の娘と一緒に帰宅することができました。高校生の娘は電車が不通になり、帰宅できないという状況でした。

河野●私は、仕事で現場作業をしていました。その時は、立っていることができず、しゃがんで揺れが収まるのを待ちました。自宅へ帰るにも道路が陥没していて手間取りましたが、何とか帰宅し、まずは民生委員・児童委員として担当地域の要支援者の安否確認を行いました。無



村内各所で道路が陥没(村松)

事を確認した後は、避難所の支援に行きました。避難者が次々と集まり、まさに右往左往でした。暗くなったころ、落ち着いてきたので、民児協の会長として各コミュニティセンターを回って避難者の状況を確認しました。

小川●避難所に行った方はいらっしゃいますか。

鈴木●避難所は人が多いだろうと思いましたが、上の子も帰宅していなかったので自宅にいました。

煙山●私も、子どもが家の布団で寝たいということと避難しませんでした。役場に行った時に「取りあえず来た」という声を聞いたのですが、もっと必要な人もいるのではないかという思いもありました。

橋本●今回の地震は津波が堤防の水門から流入しました。豊岡地区は久慈川流域に位置するため、危険を感じた住民は「てんでんこ※」に自主避難しました。白方コミュニティセン



住民が各施設に避難(役場)

ターには、余震におびえる人、ライフラインに困った人、津波に恐怖を抱く人等の避難者であふれ、駐車場の車中にも人も少なくありませんでした。その中で、ホテルに来たようなわがままな振る舞いをする避難者もおり、運営に当たるコミュニティセンター職員や役場職員、そして多くのボランティアの方々がその対応に当たる一面も見られました。

根本●私も避難せずに自宅にいました。震災が起きた時も大学が休みで家にいました。私の住む竹瓦地区も久慈川流域にあり、川の様子に気がなりましたが、途中で役場の方に止められました。**橋本●**川のそばに住む人は、災害時に状況を確認しに行く、そんな生活文化を持っています。私は、地震が発生した時、日立のバイパスを走っていました。国道245号の日立港付近は液状化現象で波打ち、やっと通り抜けた久慈大橋の上で津波が押し寄せるのを目の当たりにしました。集落に着くと、皆が「水門が閉まらない、鍵はどこだ」と慌てており、水門を何とかしようと動きまわりました。

村長●村災害対策本部では、震災後は直ちに水道、道路等の状況把握を行いました。避難所には準備の時間もないくらい早くから多くの人が集まり対応に追われました。水道の復旧は病院関係等にも大きな影響があるため急務でした。電気が復旧し、続いて水道、下水道とライフラインが復旧する中、私自身が感じたことは、今の社会システムがいかに電気中心であるかということと、電気漬けの社会を身をもって実感しました。

※てんでんこ…「各自」を意味する「てんでん」に、「こ」が付いた東北地方の方言。三陸沿岸には、一家共倒れを防ぐため、津波が来たら、肉親に構わず、各自てんでばらばら高台へ逃げろという言い伝え、「津波てんでんこ」という言葉がある。

東海村を襲った津波

橋本 ● 津波の時の様子を撮影しましたので紹介します。



津波到達時の様子

延宝房総沖地震津波(1677年)を基に作成した「東海村津波ハザードマップ」では集落に水は入らないという予測でしたが、集落は水に漬かりました。



津波発生時の航空写真



水門から海水が浸入し(右)、一体に広がりました。



水路から田んぼに浸水



3日後の様子

橋本 ● 今回の震災では、自宅の塀が倒壊したり、田んぼが水に漬かって、砂まみれになり、作物がしばらくできない状況になってしまったりと、非常に大きなショックを受けました。つい先日、来年の作付けのために、田んぼに行くとしたら2メートルくらいの草が生えていました。私は命や財産を自然災害からいかにして守るかということを守るかということを強く考えさせられました。



災害対策本部では津波にどのような対応をしたのでしょうか。

村長 ● 私自身、津波への認識が甘かったと思っています。もともと地形上、三陸のような高い津波は来ないという認識がありました。大津波警報を受け、海岸へ近付かないようにという警告はあっても、久慈川の土手を越えて豊岡や亀下地

区に津波が到達することはないと考え、避難勧告は出しませんでした。しかし、今回、予防という点からも避難勧告を出すべきであったと猛烈に反省しています。地区の皆さんにおわび申し上げます。

橋本 ● 幸い、皆無事でしたので、よかったですと思っています。

今回は、水門が閉まらず集落が孤立してしまいました。今後の対策として、まずハード面、つまり水門への対策は行政でいただきたいと思っています。そして、ソフト面では、私たちが、協力し合って対応できるように自主防災組織を作っていきたいと考えています。自然災害は侮れません。今後、村の協力を得ながら、安全で安心して暮らせる地域をつくっていききたいと思っています。

久慈大橋の様子



津波到達前

津波到達後

電気、水道、道路、電話… 生活に必要な機能が停止！

「水」を確保する

小川●電気や水道などのライフラインが寸断される中、どのように過ごされましたか。

鈴木●始めに困ったのは水でした。ただ、近所には井戸を持つお宅がたくさんありました。電気式のもの、つるべ式のもの、「ガソリンがあればくみ上げられるよ」という所もありました。私も井戸を開放してくださったお宅から水をいただいで過ごしました。

煙山●鈴木さんと同じで、近所の方に、「あそこに行けば水をもらえよ」と教えていただき、給水に並ぶより早いかなと思いい、井戸に行きました。

根本●私の家は、日頃からペットボトルの水をダンボールで買っていたので、飲み水には困りませんでした。トイレの水は、家に井戸があったので、竹ざおにバケツを取り付けて、力作業だったので、くみ上げて、お風呂にためて使いました。

河野●私の家はエコキュート(自然冷媒ヒートポンプ給湯機)で、タンクから300リットルほどの水を確保することができました。避難所に行けない要支援者や動けない方には、水を確保して配らなくてはいけませんので、助かりました。給水には長蛇の列ができましたが、白方コミュニティセンターでは、センター長の発案で、容器に番号札を付け、後ほど取りに来てもらうという方法をとったので、並ばずに済み、大変喜ばれました。



給水の様子(役場)

小川●電気がない中で、子どもたちは大丈夫でしたか。

煙山●常備していたろうそくで、「誕生日みただね」などと言いながら過ごしました。寒かったこともあり、とにかく暗くなったら寝るようにしました。そのような中で近所の方が「ホックカイロ(使い切りカイロ)があるよ」と声を掛けてくださったたり、民生委員の方が回ってきてくださったりと心強かったです。

村長●水道は、久慈川から水を引くための取水施設を補修し、それから200か所以上あった漏水箇所を探り当てて補修しながら水を流すという作業でした。また、県から受水する須和間の配水場は復旧が遅れ、外宿浄水場から遠い白方や照沼方面は圧力が上がらず、送水が遅れてしまいました。

給水は、寒い所に長時間並ばせてしまい、工夫が足りなかったと思っています。給水車の数が足りないこともありましたが、それだけでなく、給水車で水を供給するというやり方も見直す必要があると考えています。現在、緊急時に

使える井戸の把握や井戸マップの作成、また、避難所となる施設には井戸や発電機を設置するなどの検討を進めているところです。

どうやって情報を伝達するか

橋本●ライフラインの問題として特に感じたのは防災行政無線放送です。最初は機能していましたが、途中から機能しなくなっていました。非常に不安になりました。

河野●情報を伝達するのも大変でした。災害対策本部に状況を伝えるために、避難所と役場を行ったり来たりして過ごしました。

橋本●避難所と災害対策本部を結ぶ無線は、情報が錯綜して要領を得ませんでした。水門が閉まらないという状況を伝えるのも、車を使わずを得ず、渋滞や道路の破損等により、白方コミュニティセンターから役場まで40分もかかってしまいました。

村長●非常事態が起きているときに情報が入らないのは不安になりますし、パニックの原因と



水道管の復旧工事の様子(石神外宿)



災害対策本部会議の様子

なります。今回、屋外放送のバッテリーの容量がなくなってしまうこと、そして災害対策本部や職員同士の意思疎通などにも不十分な点が多くありましたので、通信基地や情報伝達の方法等を改善していくことにしています。

生かし切れなかった若い力

小川●根本さんは災害ボランティアに参加したということですが、どのような状況でしたか。

根本●私は村と宮城県の亘理町でボランティア活動をしました。村では紙おむつや粉ミルクを配給したり、お年寄りの家に行き、部屋の中の倒れたものを片付ける作業をしたりしました。特に感じたことは、配給などの物的支援も必要なことですが、片付けなどは、お年寄り一人の力ではとても難しいのが現状でしたので、そういった人的支援が必要とされているということです。
鈴木●震災当時は学校も休みで、若い力がたくさん余っていました。「何かやりたい、でも何をしたらいいか分からない」という気持ちを持つ若者はたくさんいたと思います。ボランティア



倒壊した塙の撤去作業

アとして一生懸命活動している人がいる一方で、活動しようとしても「村に聞かないと分からない」「登録してからにして」と言われたり、「何かできませんか」と聞いても指示してもらえなかったりして、何もできなかった人もいたと聞いています。せっかくの若い力を生かさないうのもつたないことだと思います。



配給する物資の準備

情報のパイプラインは最大の課題

河野●今回の問題点として指揮系統が明確でなかったことが挙げられます。人を動かすために配給を振る人がいませんでした。避難所の状況についても、「誰に伝えたらよいか」と戸惑いしました。情報をどのようにまとめるか、そしてどのように指示していくかは大きな課題なのではないでしょうか。

村長●情報の指揮系統については、震災後に意見を集約する中で、多くの方から厳しくご指摘をいただいています。今後は、地域の実情に詳しい各地区の責任者も災害対策本部に入ること、行政との連携体制を取っていくことや、責任者や指示する人を明確にした防災計画を検討していかなくはないかと思っています。

いざというときのために
どんな備えをする？

自分を守る「自動」

小川●家庭で備えていることはありますか。
煙山●少し多めに水を買ったり、お風呂の水を入れ替える直前に流すようにしています。また、子どもを抱えていても動きやすいように車の中には運動靴を入れてあります。おむつも、我慢できないことです。常に備えています。

根本●今回の震災では、携帯電話が役に立ちました。営業しているガソリンスタンドやスーパーの情報など、県内の震災情報を携帯電話から得ることができ、このような情報手段も非常に有効だと感じています。そのためにも、携帯電話を常にかけておくことと車のバッテリーで充電できる充電器を持つておくことも大事だと思います。震災時はこの充電器を近所の方も借りて来ました。

河野●携帯電話は寝る時も離さないほうがよいという話を聞きました。発生直後はつながらな



各施設にも被害(東海駅)

いかもしれませんが、意外と復旧は早いと思います。個人的なライフラインの確保として携帯電話は大切だと思います。

橋本 ●豊岡区自治会では「防災体制をつくろう」という委員会を作り、活動を始めました。ただ、地震、津波はいつ来るか分かりませんが、取りあえず伝えたいことを「自治会だより」で周知しました。このような活動は豊岡に限らず各自治会でやっていると思います。ただ、自治会内でも場所によって環境が異なるので、同じ計画を共有できるのかは話し合っていく必要があると思います。また、誰もが対応できるものにする事で、被害を小さくすることができると考えています。

河野 ●自主防災組織というと、「防災」に目が向きがちですが、避難者支援を含めた「災害時」の行動計画についても、自治会と民生委員・児童委員が連携して考える必要があると思います。**鈴木** ●この「自治会だより」の3つの原則を見てまさにその通りだと思いました。私たちの年代

いつ来るか分からない、巨大地震に備えて

豊岡区自治会 平成23年11月12日
自主防災体制検討資料-1

いざという時のために(玉石の考慮や備え)

原則その1:「想定にとらわれない」
原則その2:「その状況下で、最善を尽くす」
原則その3:「まず自分が避難せよ」

1分以上の地震が発生したら、30分以内に大津波が来るので、すぐに避難所(白百コミセンか白百小学校)へ逃げる

※夜間で、家族が全員そろっている場合は、全員そろって逃げる

※昼間、車が空いた時は、道路か自転車でも一人でいいから逃げる

※出来れば、向こう三軒両隣に声をかける(例:隣家の庭内とか)

※学校、会社、買い物に出ている人は、家に帰らず、元の自主避難所へ集まる

※家族の安否は、避難所(白百コミセンか白百小学校)で確認する(避難後、自治会長か班長等へ必ず連絡をして下さい)

【大地震時には、停車し、固足電話、携帯電話は通じなくなる。利は避難所でも通じない。各自が、ラジオ、携帯の充電器等で、情報を収集すること】

【津波でなくても、津波が来たら、各自で津波が来たら一人一人が家族へと逃げろ】
「一瞬を待たせるためにも、自分一人だけでも、自分ひとりの判断で行動して下さい」
「自分の命は、自分の責任で守れ」

このことを、家族で十分に話し合ってください。
避難先までのお迎えも、おはあふても、自分ひとりの判断で行動して下さい。
30分待たずして逃げます。多分、30分あれば十分逃げられます。

災害はいつ起きるか分からない! まず伝えたいことを自治会だよりに(豊岡区自治会だより)

はほとんどの親が働いていますし、子どもも行動範囲が広がり、どこでどのように被災するかわかりません。私は子どもたちに、常に「とにかくパニックにならないように」と言っています。何かあったらまずは自分。自分で判断し、行動する心構えが必要だと思います。

こんな時の「地域自治」 助ける、助けられる社会

防災・防犯の観点から 自治会を考えてみる

小川 ●各自治会が防災活動に取り組む中、情報を共有する、という意味でも、皆さんが自治会に加入していく必要があると感じています。

河野 ●私も自治会組織の大切さは以前から痛感しています。県の民児協の中でもそのようなことが話題に上っています。各地域により特性はあると思いますが、今見せていただいたようなパンフレットを配布して、地道に勧誘することの一つの方法だと思います。

橋本 ●自治会は、地縁的な結び付きで、同じエリア内で共に助け合いますよという事です。私たちのような地域は古来から水害の危険が高く、互いに助け合う仕組みが引き継がれているため、班を一つのコミュニティとして、ほとんどのお宅が自治会に加入しています。しかし、高台に新しく開発された住宅街では、加入者が少ないのが現状のようです。普段の生活

面で、自治会加入のメリットは感じにくいですが、震災時は、安否確認や水・食料等の確保を協力して行ったり、避難所でも助け合ったりと普段の自治会活動が生かされました。まだ加入されていない方は、この機会に関心を持っていただければと思っています。

村長 ●行政は、これまで自治会加入を強制できないというスタンスを取ってきました。しかし、震災を通して、防災・防犯という点からも、地域社会のルールづくりを考える必要があることを痛感しています。

鈴木 ●私の家は一戸建てなので、家を建てた時に自然に自治会に入って活動してきました。ごみを出すために入っているという知人もいます。今は冠婚葬祭も別の所で行い、隣近所のお手伝いがいらぬ時代ですので、実際、引き継ぎの時に顔を合わせるだけということもあります。しかし、災害時は、回覧板を届ける時に声を掛け合う自治会のようなつながりも必要なのかなと感じました。

煙山 ●うちはアパートなので自治会には入っていません。しかし、この災害を通して、やっていただくばかりではいけないと思っています。ただ、どのようにして自治会に入ればいいのか、どこに声を掛ければいいのか、そしてそのきつ



撮影：泉幸男さん(舟石川)

避難所での様子

かけがありません。同じような思いを持つ若いお母さんはたくさんいると思います。

橋本 ● 難しく考えなくていいと思います。5戸以上が集まれば班が成立しますので、同じアパートに住む方々で、お互い助け合いましょうということと班を作り、それを自治会に登録すればよいのです。

煙山 ● 私は小学校の役員をしているのですが、例えば「役員会がある」といったきっかけがあれば集まりますが、アパートには働いている人も、子どもが小さくて出てこれない人もいます。機会がなくて、そのような話もできません。こちらから働き掛ければいいのかもかもしれませんが、そこまではなかなかできないのが現状です。

根本 ● 私のうちは自治会に入っています。私も小学校の頃から子ども会に入っているのですが、名前は知らなくても、近所の人の顔はほとんど分かります。震災の時は、近所で声を掛け合ったり、助け合ったりすることができ、地域内でのコミュニケーションの大切さをあらためて感じています。

小川 ● 親が入れば、子どもたちも自然と自治会や子ども会の輪の中で、近所の方と交流しながら育っていくのかもしれないですね。

村長 ● 子どもの社会力は信頼できる大人が近くにいることで付くそうです。子ども会や三世代交流も大切だと思いますし、子どもは親がPTAや子ども会、自治会で活躍する姿をじっと見ている。親が地域の中で生き生きと活動することは子どものプライドでもあります。そしてそ

れが子どもの成長にもつながるように思います。
小川 ● PTA活動から、自治会の活動と結び付くことはないでしょうか。

鈴木 ● 震災を経て、PTAでも「普段の地域でのコミュニケーションがいかほど大切であるかを認識した」という意見が出ました。震災時に給水に並んだお父さんが、地域に知っている顔がなかったという意見から、お父さん同士が集まるうという動きも出ています。お父さんは、原



子力、建築、行政等ある種のプロですので、地域で集結したらすごい原動力になるし、地域の広がりもできると思います。それを基に自治会と協力することもできるのかなと思います。また、小学校の登下校時にはたくさんの見守り隊の方がいます。そのような中で顔見知りの人が一人でも増えて、あいさつができる人がいて、安心して登下校できる、子どもたちが自分はいつも見守られているということを感じられることも自治会につながっていくのではないかと思います。

村長 ● この震災ではアパートにお住まいの方もたくさん避難していたようです。これがいわゆる共助なのだというところを、ご理解された方も多いのではないのでしょうか。その点からも、「自治会に加入しなさい」と一言で言うのではなく、防災、相互援助、あるいは防犯という面から問

い掛けていくことも必要なのでしょう。若い人たちが、地域の付き合いが億劫だと思ふ気持ちも分からなくはありません。そこで、防災・防犯、あるいは学校での交流などをきっかけにして顔見知りになることが一つの方法なのかもしれませんね。

「災害に強いまちづくり」はまちづくりの根本

村長 ● 現在進めている「東日本大震災の教訓を活かしたまちづくり推進プロジェクト(仮称)」は、「震災への対応」ということだけでなく、基本的なまちづくりの在り方、つまり、まちづくりの根本・中核に関わるものだと思います。

本日は、皆さんの経験や感じたことなど、それぞれが持っているものを出し合うことで、新たな知恵が湧くことを実感しました。また、災害に強い地域社会をつくるための自治会制度や自治会の在り方、それから自治会組織に加入し、お互い助け合うことの重要性を考えることができ、東海村の「震災後のまちづくり」のための貴重な意見をいただきました。

まちづくりを進める中で、地域社会が強固なものになることで、行政もそれにふさわしい力を付けてくる、そのような関係であることが大切だと思っています。

小川 ● 本日は長時間にわたり、ありがとうございました。



1月22日(日)は 東海村議会議員一般選挙の投票日です ～投票時間は午前7時から午後8時まで～



投票所

世帯ごとに郵送される投票所入場整理券に記載された投票所で投票してください。投票所入場整理券が何らかの事情で届かなかったり紛失したりした場合でも、選挙人本人であることが確認できれば投票することができます。
なお、第4・10・13投票区投票所の3か所は、これまで使用していた施設が東日本大震災等の影響により使用できないため、場所を変更しますのでご注意ください。

| 投票所名 | 投票場所 |
|-----------|---|
| 第1投票区投票所 | 真崎コミュニティセンター |
| 第2投票区投票所 | 村松コミュニティセンター |
| 第3投票区投票所 | 中丸コミュニティセンター |
| 第4投票区投票所 | 変更前▼舟石川保育所 変更後▼東海村役場(行政棟1階 総合案内前) |
| 第5投票区投票所 | 外宿2区自治集会所 |
| 第6投票区投票所 | 石神コミュニティセンター |
| 第7投票区投票所 | 亀下区自治集会所 |
| 第8投票区投票所 | 白方コミュニティセンター |
| 第9投票区投票所 | 村松幼稚園 |
| 第10投票区投票所 | 変更前▼東海村合同庁舎本館 変更後▼東海村合同庁舎2号館 (シルバー人材センター) |
| 第11投票区投票所 | 中央公民館 |
| 第12投票区投票所 | 舟石川コミュニティセンター |
| 第13投票区投票所 | 変更前▼南台区自治集会所 変更後▼須和間幼稚園仮園舎 (南台保育園跡地) |
| 第14投票区投票所 | 営農生活改善センター |

投票できる方

満20歳以上(平成4年1月23日までに生まれた方)で、東海村の住民基本台帳に引き続き3か月以上登録されている方(平

成23年10月16日までに住民票が作成された、または転入の届け出をした方)。*他市区町村に転出した方は投票できません。

期日前投票制度をご利用ください

「期日前投票制度」とは、仕事や旅行などの理由により投票日当日に投票することができない場合でも、簡単な手続きにより、投票日の前に投票することができる制度です。

▼この制度を利用する場合

- ① 郵送された投票所入場整理券を持参してください(印鑑不要)。
- ② 「宣誓書」を提出してください。
*投票所入場整理券の裏面が「宣誓書」になっていますので、あらかじめ記入してください。なお、投票日当日に投票に行けない理由を詳しく書く必要はありません。

▼投票期間

1月18日(水)～21日(土)

▼投票時間

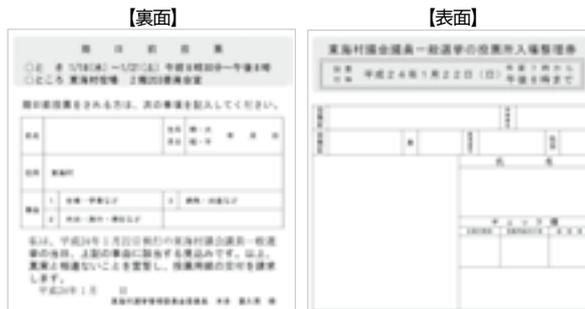
午前8時30分～午後8時

▼投票場所

203委員会室(役場2階)

「選挙公報」「啓発チラシ」も併せてご覧ください

村選挙管理委員会では、候補者の氏名経歴・政見等を記載した「東海村議会議員一般選挙の選挙公報」と東海村白バラ会と共同で作成した「東海村議会議員一般選挙啓発チラシ」を発行します。1月17日(火)の告示日から数日中に新聞折り込みにより配布するほか、役場や各コミュニティセンターなどの村内公共施設にも備え付けますのでご覧ください。



■問い合わせ 東海村選挙管理委員会(総務課内) ☎282-1711 内線1313

5月からの本格稼働を目指しています

「ひたちなか・東海クリーンセンター」

村では、これまで循環型社会の形成を目指し、資源物の分別収集や剪定枝葉のリサイクル、ごみ処理袋の指定等さまざまな環境施策を推進してきました。

一方、村とひたちなか市で現在稼働している3つの清掃センターは、いずれも建設時から年数が経過しており、老朽化による多額の修繕経費が必要となっています。そのため、村とひたちなか市で広域的にごみ処理を行い、環境負荷の軽減やコスト削減等を行うために、平成21年度から新たな清掃センターの建設を始めました。去る12月1日にごみ搬入式を行い、現在は各設備の性能を確立するための試運転を始めたとのことです。

新たな清掃センター「ひたちなか・東海クリーンセンター」は5月からの本格稼働を目指しています。本格稼働後は、“可燃ごみ”の処理方法等が変更となりますのでご注意ください。

●可燃ごみの処理方法

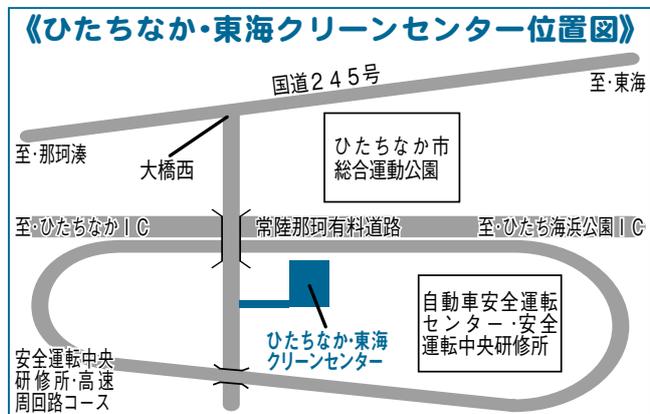
| | 現 行 | 本格稼働後 |
|-----------------|--|---|
| 処理施設へ 直接自己搬入 | 場 所 | 東海村清掃センター |
| | 日 時 | ひたちなか・東海クリーンセンター (ひたちなか市新光町・下図参照) |
| | 方 法 | 月曜日から金曜日までの午前8時30分～午後4時30分(正午～午後1時を除く)と第3日曜日の午前8時30分～正午 |
| | 手数料 (家庭系) | 中身が確認できる袋に入れて自己搬入してください。 |
| 集積所へ搬出 | 手数料 (家庭系) | 左に同じ |
| | 集積所へ搬出 | ▼20kg以下(無料) ▼20kgを超え50kg以下(50円) ▼50kgを超え100kg以下(100円) ▼100kgを超え300kgまで(200円)ほか |
| | | ひたちなか・東海広域事務組合が制定する額となります。※現段階の案は次のとおりです。▼50kg以下(無料) ▼50kgを超え60kg以下(300円) ▼60kgを超える10kgごとにつき50円加算 |
| | 村指定のごみ処理袋に入れて(小枝を束ねた時はごみ処理券を貼り付けて)各地域の集積所へ搬出してください(1回当たり20kg以下)。 | 左に同じ(1回当たり50kg以下) |

●不燃ごみ・粗大ごみ・資源物の処理方法

不燃ごみ・粗大ごみ・資源物は、「ひたちなか・東海クリーンセンター」の本格稼働後も現行どおり東海村清掃センターで処理します。



各地域の集積所や指定された資源物ステーションへの搬出方法、東海村清掃センターへの直接自己搬入方法等については変更ありません。



問い合わせ ごみゼロ推進課ごみゼロ推進担当(清掃センター内 ☎282-7289)

新・教育委員を紹介します

このたび、根本仁子さんが議会の同意を得て教育委員に就任しましたので紹介します。



根本さんは、白方小学校や東海中学校などで教壇に立ち、平成22年3月、村松小学校の校長で定年退職を迎えました。その後、村の発達支援センターでコーディネーターとして務めていました。

《教育委員会とは》

教育委員会は5人の委員(任期4年)で構成され、学校の運営や管理、教育方針、青少年教育等、教育に関する事項について管理・執行する機関です。

《東海村教育委員》

| 氏名 | 任期 |
|-------------------------|----------------------------|
| 塙 厚/委員長 (須和間在住) | 平成24年10月5日まで |
| 原 淑行/委員長職務代理者 (村松在住) | 平成24年10月5日まで |
| 根本 仁子 (竹瓦在住) | 平成25年12月19日まで (前任者残任期間) |
| 小泉 裕理子 (石神外宿在住) | 平成26年12月21日まで |
| 川崎 松男/教育長 (村松北在住) | 平成27年12月31日まで |

問い合わせ▼学校教育課企画総務担当(☎282-1711 内線1411)

新・教育長を紹介します

このたび、川崎松男さんが議会の同意を得て教育委員に就任し、去る1月4日に開催された東海村教育委員会において教育長に任命されましたので紹介します。

新・東海村教育委員会教育長

かわさき まつお
川崎 松男

(S28.2.22生)



昭和50年4月、北茨城市立磯原中学校教諭となり、東海村教育委員会指導室長、東海南中学校長、白方小学校長を歴任。

平成24年1月、東海村教育委員会教育長に就任。

～就任のごあいさつ～

去る12月の村議会定例会におきまして、村議会のご同意を得、1月1日付で教育委員に就任いたしました。

その後、1月4日に開催された、東海村教育委員会におきまして、教育長に任命されました。

微力ではございますが、教育長として、“子どもたち一人ひとりがキラリ輝く”教育の充実に向け、邁進する決意でおりますので、どうぞよろしく願いいたします。

「経済センサス・活動調査」にご協力ください

総務省および経済産業省では、平成24年2月1日を基準日として、「平成24年経済センサス・活動調査」を実施します。

経済センサスは、国や地方自治体が行う行政施策の企画立案や地域産業の活性化など、まちづくりに欠かせない資料として利用されます。また、経済活動に対する東日本大震災の影響を全国のおよび地域別に把握し、復興のための貴重な基礎資料を提供する重要な調査となります。



■調査対象 全国の全ての事業所と企業 ※個人経営の農・林・漁業など一部の事業所は除きます。

■調査項目 売上高や費用などの経理事項

■調査方法 1月中旬から2月上旬にかけて、調査員が調査対象となる事業所と企業を訪問して調査票を配布します。記入済みの調査票は、後日調査員が回収します。

■その他 ▼調査員が聞き取った内容や調査票に記入した内容は、統計以外の目的に使用することはありません。▼調査員は、茨城県知事発行の「調査員証」を携帯しています。

■問い合わせ 政策推進課企画調整担当 (☎282局1711 内線1335)

こんにちは！ MED 村立東海病院



整形外科を紹介します

新しい年を迎え、村立東海病院はさらなる発展と充実を目標に職員一同頑張っています。今回は整形外科について、当院の副院長で整形外科医の豊田実が紹介します。

整形外科とは？

整形外科とはどんな科でしょう。美容関係？なんて言われてしまうこともあります。整形外科という名前を付けた先人を責める訳ではありませんが、整形外科を意味する orthopaedics (オルソペディクス) という言葉は、元来小児期の骨の変形を矯正しかつ予防する学問・技術という意味であると専門書には書いてあります。

整形外科医の大半は日本整形外科学会(JOA)の学会員です。私も学会員として、学会認定専門医の資格を持っています。

安静第一から積極的運動へ

整形外科治療は、“安静第一”から“積極的運動”を勧めていく方向へ変化しています。また、何でも他力本願的に人から与えてもらう治療から、自分で積極的に体を動かすことを補助していく治療になってきています。特に高齢者における骨折といえば、以前は骨粗しょう症が第一に考えられていましたが、今では運動能力が注目されています。いくら薬で骨密度を上げて骨粗しょう症を治療しても、足腰が弱っていれば転倒してしまい、結果骨折してしまうという観点からです。転倒→骨折という悪い連鎖を断ち切るためには、ロコモーショントレーニング(運動器症候群の予防・改善を目的としたトレーニング)が大切です。皆さんも取り組んでみませんか。※ロコモーショントレーニングの詳細は、当院整形外科外来までお問い合わせください。

全ては地域医療のために！

先日、当院は日本整形外科学会認定の臨床研修病院に認定されました。現在、当院の整形外科医は私一人ですが、骨折、人工関節、その他の手術を行っており、その数は年間およそ150例に及びます。これを支えてくれているのが手術室スタッフの看護師、中央材料室助手と、病棟・外来スタッフです。

近年日本においては、地方で医師が不足し、都会・大病院に集中してしまう傾向にあります。しかしながら私たちは、“医師の少ない地域でもこれだけのことができるんだよ”と世間に広め、縮小しがちな地域医療の励みになることができるといふ思いで頑張っております。“田舎の小さい病院だからそれなりのことしかできない。だからすぐに大病院に行った方がいい”といった考えに負けないためにも、これからもベストを尽くしていきたいと思っております。

村立東海病院整形外科医 豊田 実(副院長)

健診室からのお知らせ

寒い日が続きますが、皆さんお変わりありませんか。さて、前月に引き続き当院人間ドックのオプション検査を紹介します。

【頭部MRI・MRA検査】

当院では、1.5T-MRI装置を導入しています。この装置を用いて、頭部の血管や脳の状態を確認します。検査所要時間は約15分、費用は16,800円です。ご希望の方は、人間ドックの申込時に申し出てください。

●問い合わせ 村立東海病院健診直通(☎282-2614)



問い合わせ●村立東海病院(☎282-2188)、保健年金課地域医療担当(☎287-0899)

国民年金 源徴収票が送付 だより されます



毎年1月中旬から下旬にかけて、老齢(退職)年金受給者には、日本年金機構から「源泉徴収票(はがき)」が郵送されます(障害年金・遺族年金受給者は所得税非課税のため、送付されません)。

■記載事項

源泉徴収票には以下の内容が記載されています。

▼前年1年間(1月1日～12月31日)に支払われた年金総支給額

▼年金から直接徴収された所得税額や社会保険料額(介護保険料・国民健康保険税・後期高齢者医療保険料)

▼各種人的控除人数(控除対象配偶者、扶養親族の人数など)

■確定申告に使用します

年金から徴収されている所得税額は人的控除のみを反映させた金額です。そのため、年金以外に所得があったり、各種控除の追加、扶養人数の変更等により所得税の還付または納税になる方は、所得税の確定申告(住民税のみ影響する場合は住民税の申告)をする必要があります。

その際に、この源泉徴収票が添付書類として必要になりますので、申告時期まで大切に保管してください。万一紛失した場合は、ねんきんダイヤルや年金事務所まで再交付申請ができます。

■問い合わせ

ねんきんダイヤル(☎0570・05

1165)、水戸北年金事務所国民年金業務課

(☎231局2381)、保健年金課国保年金担当(☎

282局1711内線1133)

指導者からのメッセージ

青少年育成 体験記

PART. 115



これまでさまざまな活動に携わって…

東海村子ども会育成連合会指導員 須和間 大貫 理紗

小学生の頃、私は友達に誘われ東海村子ども会育成連合会(村子連)主催のリーダー研修会に参加しました。人見知りだった私は、他校の児童と友達になれるか不安でした。周囲に溶け込めず同校の友達と固まっていると、話したことのないお姉さんが「ゲームが始まるから一緒に来よう」と声を掛けてくれました。正直に言うと最初は面倒だと思いましたが、いつの間にか楽しく一緒に遊んでいました。心配していた他校の児童とも仲良くなり、その後も村子連の行事に参加するようになりました。

そのうちに東海村高校生会の存在を知りました。小学生の頃から保育士になるのが夢だった私は、子どもにふれあえるいい機

会だと考え、高校生になるとすぐに入会しました。高校生会では子ども会の行事や各団体の事業などの派遣要請で、いろいろなおへ行きました。

その後大学生になり、高校生会のOGになりました。何か役に立てることをしたいと考え、村子連の会員として活動することにしました。東海村の行事への参加や、リーダーシップの取り方を子どもたちに指導するなど、村子連での活動内容はそれまでとは立場が違うものになりました。

8月に行われたデイキャンプでは、テントの張り方を覚えたり、竹で器と箸を自作して流しそうめんを食べるなど、子どもも大人も楽しめるような企画にしました。11月に行われたリーダー研修会では、危険予知トレーニングや班行動、うどん作りなどを通して、子どもたちにリーダーとして何が大切かを泊まりがけで指導しました。

現在私は、大学を卒業し、保育士として働いています。私は村子連での活動を通して、子どもたちが外に出ていろいろな世代の人と関わり、活動を楽しめる環境を作っていきたくて考えています。そして、次世代の子どもたちが成長するためには次世代の指導者の育成が必須だと思います。保育士になる夢がなくなった今、私の夢は「いつかあのお姉さんのようにになりたい」と子どもたちが思えるような指導者になることです。

国保だより

保健年金課国保年金担当(☎282-1711内線1133)

その② 一般会計からの繰り入れ状況

国民健康保険事業は、皆さんが納めている保険税と国や県からのお金等を主な財源としています。しかし、それだけでは財源に不足が生じるため、一般会計(村税を主な財源として、村の事業を行う中心的な会計)からお金を繰り入れたり、これまで蓄えてきた国民健康保険支払準備基金を取り崩したりして運営しています。今回は、過去3か年、一般会計からどれくらいの額を繰り入れたかなどをお知らせします。

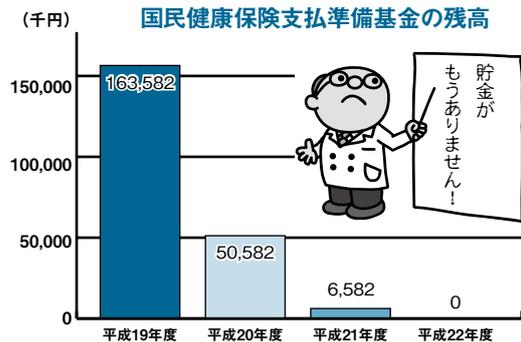
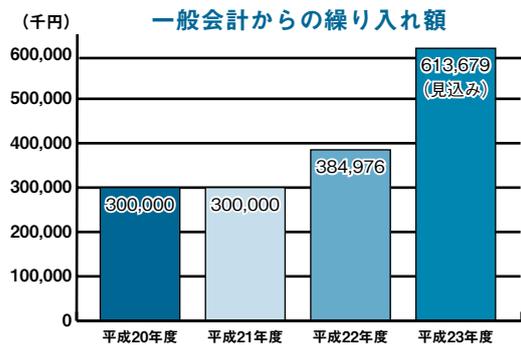
●貯金がない!!

国保会計(国民健康保険事業の経理を明確にするため、一般会計と区分して、法律や条例によって設けられた特別会計)は、平成20・21年度でそれぞれ3億円、平成22年度は3億8,497万6千円を一般会計から繰り入れて運営しました。平成23年度はさらに増えて6億円を超えるお金の繰り入れが必要となる見込みです。現状では一般会計のお金に頼らざるを得ない状況ですが、今後は一般会計から今まで以上の額の繰り入れを行うことは厳しくなります。

一方、国民健康保険支払準備基金、つまり国民健康保険事業の貯金も取り崩して国保会計に繰り入れています。その残高は平成19

年度末で1億6,358万2千円あったものが、増え続ける保険給付費(医療費のうち、被保険者負担分を除いた費用)の支払いに充ててきたため、平成22年度末には実質ゼロとなってしまいました。今後の財源不足を貯金で補うことはできなくなっています。

国民健康保険制度はお互いに支え合う制度であることをご理解いただき、保険税につきましては、納期限までに納めてくださるようご協力をお願いします。



平成23年度優秀映画鑑賞推進事業

東海ワンコイン劇場特別編

日本映画の名作を紹介する「東海ワンコイン劇場特別編」。今回は、監督と女優の宿命的な出会いによって生み出された4本の映画を上映します。日本の映画史上に輝く名作をスクリーンでお楽しみください。
期日・作品および上映開始時間▼

2月4日(土)

●「浪華悲歌」(溝口健二)

監督、山田五十鈴・梅村蓉子/出演) ①午前10時 ②午後1時50分

●「晩春」(小津安二郎)

監督、笠智衆・原節子/出演) ①午前11時40分 ②午後3時30分

2月5日(日)

●「稲妻」(成瀬巳喜男)

監督、高峰秀子・三浦光子/出演) ①午前10時 ②午後2時

●「華岡青洲の妻」(増村保造)

監督、若尾文子・高峰秀子/出演) ①正午 ②午後3時50分

場所▼東海文化センター

入場料▼500円/人(全席自由・3歳以上有料)※①前売り券の販売はありません。②入場料金は1日有効です(途中退出無効)。
問い合わせ▼東海文化センター(☎282局8511)



連作障害を回避しましょう

新しい年を迎え、春先から家庭菜園の作付け計画を練り始めている方もいるかと思いますが、さまざまな野菜を、どのように植え付けようかと思いを巡らせるのは楽しい作業ですね。去年おいしくできた野菜を今年もまた作ろう、と意気込むのはいいのですが、連作障害を忘れてはなりません。

連作障害とは、同じ土地に連続して作物を植え付けると起こる現象です。トマトやナスなどナス科の植物の被害はよく聞く話ですが、ナス科以外の作物でも発生します。連作障害の具体的な例としては、土の中に細菌やウイルスが増殖して病気になる、有害なセンチュウが増えて生育に影響などが挙げられます。

連作障害は農家にとって避けて通れない問題となっています。連作障害を起こさない作物は稲だけという説もあるくらいです。現時点では発生メカニズムには解明されておらず、対症的に農薬等で土壌消毒を行っているのが現状です。

家庭菜園での連作障害の回避方法としては、同じ場所に同じ品目を植え続けずに、違う品目を数年周期で作り返す輪作があります。また、有機質が豊富な堆肥を十分に使うなど、土作りに励んだ畑では連続してトマトを栽培しても障害が発生しないという例もありますので、参考にしてください。

▼問い合わせ 農業支援センター(東海ファーマーズマーケット「にじのなか」内 ☎287局7867)

なごみチャンネル

なごみ総合支援センターの活動を紹介する「なごみチャンネル」。今回は、1月10日からサービスを開始する「こころの体温計」についてお伝えします。

●「こころの体温計」で気軽にストレスチェックしませんか？

最近いつもイライラする、不安が付きまとうなど、心の不調を感じることはありませんか？ 仕事や育児など、日々の生活で頑張り過ぎると心のバランスを崩してしまつてことがあります。

「こころの体温計」は携帯電話やパソコンを利用して、ストレス状況や気持ちの落ち込み度をセルフチェックできるシステムです。いつでも気が向いたときに利用できるのが特徴です。自分自身や大切な家族の心の健康をチェックしてみませんか。

●使い方は簡単です！

「こころの体温計」へのアクセス方法は次の通りです。
 ◆パソコンの場合は村のホームページに表示されているバナー(下図参照)からアクセスしてください。
 ◆携帯電話の場合はQRコードからアクセスしてください。

※氏名・年齢・性別・住所などの個人情報報は、一切不要です。費用は無料ですが、通信料は自己負担となります。



「こころの体温計」試してみませんか？
ストレス度・落ち込み度を簡単チェック!

●3つのモードから選べます

◆**本人モード**
 自分の心のストレスを計ります。ちょっと疲れているかな…と思ったときなどに。

◆家族モード

身近にいる人の心のチェックができます。最近お父さん元気がないな…というときなどに。

◆赤ちゃんママモード

子育て中のお母さん向けです。家事と育児でもう大変…と感じたときなどに。

●精神保健福祉に関する相談を受けています

「こころの体温計」の判定結果が気になる場合など、精神保健福祉に関する相談を随時受けています。お気軽にご相談ください。

◆期日

月曜日から金曜日まで(祝日を除く)

◆時間

午前8時30分～午後5時15分

◆費用

無料

◆その他

電話での相談も可能です。

●問い合わせ

なごみ・総合支援センター
 ☎287局7867



こころの体温計(本人モード)の結果例

ご本人の健康状態や人間関係、生活環境などの4項目の質問(3問に回答していただく)と、ストレス度や落ち込み度が、水筒の中で泳ぐ魚、雲などの絵によって表示されます。

【健康度】自分の健康状態のストレス

【人間関係】人間関係のストレス

【生活環境】生活環境のストレス

【その他】その他(育児)のストレス

結果例(例)

STATION GALLERY

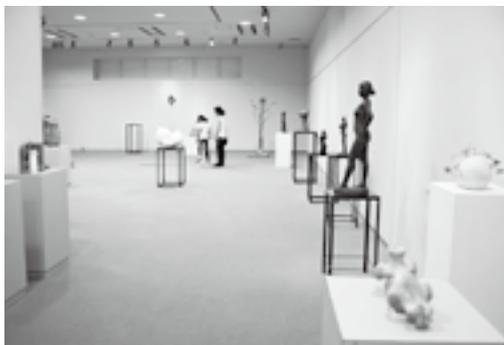
場 所 JR東海駅(駅舎1・2階)
 問い合わせ 東海駅コミュニティ施設管理室(☎287-3680)

第19回土なかま彫塑展

期 間 1月15日(日)～21日(土)
 時 間 午前10時～午後7時(最終日は午後3時閉館)
 場 所 ギャラリーA(2階)

県内在住の若手彫刻作家によるグループ展です。毎年開催し、今回で19回目を迎えます。ブロンズ・木・陶・石こうなどさまざまな材料を使った多種多様な現代彫刻表現をお楽しみください。

15日の午後2時から、出品作家によるギャラリートークを開催します。



アートルード展

日程等

| 日 程 | 場 所 | |
|-----------------|--------------|--------|
| | ギャラリーA | ギャラリーB |
| 2月5日(日)～11日(土) | 絵画・彫刻・工芸・生け花 | |
| 2月12日(日)～18日(土) | 写真 | 書 |

時 間 午前10時～午後6時(11日・18日は午後3時閉館)

村内の美術愛好家が集い、村内の企業や店舗など32会場に作品を展示する「アートルード」。東海ステーションギャラリーでは、前期・後期に分けて、アートルード会員約90人の作品を展示します。



文芸とうかい

〔俳句〕

贈られて優しピンクのシクラメン
舟石川 舛井 愛子
雲走り鴨鳥いずこ風が鳴く
豊 白 中島エミ子
芍薬の株分け終えて暮早し
東海 佐藤 とよ
ふる里の線量測る雪催い
村 松 松本 正勝
岩をかむ波しらじらと冬に入る
南 台 渋谷ひろし

いつの間に妻の天下や年用意

村松北 小野寺紀夫
冬休み超楽しみだ朝寝坊
東海 佐藤 真司
満月や西方浄土はや近し
舟石川賢 辻本 敏江
うろこ雲明星飲んで天覆う
舟石川賢 辻本 國男
初鏡うすく紅さし佳き日かな
緑ヶ丘 田中ミヤ子
シクラメン窓辺に赤く鉢三つ
船場 畑 耕太
電飾や風化の兆す街師走
豊 白 小林 久男

〔短歌〕

しあわせの真髓いかにとわれわれに
笑顔で論すブータン皇太子妃
紅葉すもみじ通りの里の道明和四年
の石佛の立つ
村 松 高橋 正弘
船場 舛井庫之助
袖子三つ浮かべ湯舟に身をしずめ木
ノ葉ひとひら冬の音をさく
内宿 村上 文江
袖子刻みもつてのほかの菊茹でて初
冬の味を夕餉に添える
外宿 小林美代子



勇壮な太古を偲ぶ断崖にしばし見と
れる昇仙峡 照 沼 佐藤 昇
正月に玄関かざる盆栽の梅咲く鉢に
福寿草そへ
舟石川 小川志つ江

度々に続く余震のいまだして離れ住
む子に思いは馳せり
須和間 柴山 靖子
いく十年書きつづけ来し年賀状五人
の名前リストより消ゆ
緑ヶ丘 佐藤 正
ところ変へまた鳴き出づる鶯の声を
聞きつつ庭草を取る
村 松 桜井 秀子

いんばおめーしょん

役場の
電話番号 ☎ 282-1711(代表)

●人口と世帯数●

| |
|--------------------------|
| 平成 23 年 12 月 1 日現在 (前月比) |
| 世帯数 14,476 世帯 (+ 26) |
| 総人口 37,903 人 (+ 43) |

●1月の納付●

| | |
|------|---|
| 納期限 | 1月31日(火) |
| 納付種別 | 村県民税(第4期分) 国民健康保険税(第7期分) 後期高齢者医療保険料(第7期分) 農業共済掛金 |

●1月の休日診療●

診療時間 午前9時30分から午後2時まで
※正午～午後1時を除きます。

| 期日 | 医療機関名 | 電話番号 |
|--------|---------|----------|
| 15日(日) | 東海クリニック | 283-1711 |
| 22日(日) | 村立東海病院 | 282-2188 |
| 29日(日) | 茨城東病院 | 282-1151 |

救急医療機関をお探しのときは ▼毎日…24時間対応

茨城県救急医療情報コントロールセンター
(☎241-4199)

茨城子ども救急電話相談 ▼午前9時～午後5時…日曜日・祝日・年末年始(12月29日～1月3日)▼午後6時30分～11時30分…毎日

プッシュ回線の固定電話、携帯電話から
(☎ #8000)

全ての電話から (☎ 254-9900)

●窓口業務時間延長●

実施日時 第1・3木曜日 午後7時まで

【実施課】主な取り扱い業務※

【住民課】住民登録、印鑑登録、パスポートの交付、各種証明書・許可書の発行等

【保健年金課】保険や年金に関する各種手続き、母子健康手帳の交付等

【社会福祉課】保育所の手続き、子ども手当・児童扶養手当の申請等

【会計課】国税と県税を除く各種税金・使用料等の支払い

【税務課】各種証明書の発行、村税納税相談(要予約)

【水道課】上水道の手続き、上下水道料金の支払いなど

※詳しくは、村公式ホームページをご覧ください。

●防災行政無線の内容が無料で聞けるテレホンサービス●

全ての電話から (☎ 0120-42-4848)

暮らし



「償却資産」の申告期限は

1月31日(火)です

「償却資産」とは、会社や個人で事業を営む方が、主にその事業に用いている機械器具・備品等のことで、固定資産税の対象となるものです。毎年申告をしている事業者等には、村から案内を郵送していますので、忘れずに申告してください。また、初めて申告する事業者等で、案内が届いていない場合は、お問い合わせください。対象償却資産の例▼小売業：陳列ケース・冷蔵庫・冷蔵ストッカー等
飲食業：冷蔵庫・調理場設備等 医療・薬局業：ベッド・手術機器調剤機

土地区画整理審議会委員選挙の選挙人名簿縦覧を行います

水戸・勝田都市計画事業東海駅東および東海駅西第二の土地区画整理審議会委員選挙に係る選挙人名簿の縦覧を行います。

期間▼1月12日(木)～25日(水)

※土・日曜日にも縦覧できます。

時間▼午前8時30分～午後5時15分
場所▼区画整理課(役場行政棟2階)

※土・日曜日は夜間出入り口(庁舎北側)からお入りください。

対象▼東海駅東および東海駅西第二土地区画整理事業地内に土地所有権を有する方または借地権等の申告をされた方

区画整理課管理担当(内線1213)

「平成23年度ほしほし品評会」の開催

茨城ほしほし対策協議会では、消費者に信頼される産地としての意識高揚と品質向上を目指し「平成23年度ほしほし品評会」を開催します。茨城ほしほし対策協議会の「三ツ星認定」を受けた農家が生産した干しほしを対象に、糖度の測定値や味・色・形等を審査して表彰する品評会です。試食コーナーなどもありますので、ぜひご来場ください。
日時▼1月25日(水)午後1時～4時

福祉



「小・中学校入学祝金贈呈事業」のお知らせ

社会福祉協議会では、4月に小学校へ入学するお子さんを対象に祝い金を贈呈します。祝い金を受けるには、本人または代理人による申請が必要となります。申請に基づき所得調査を実施後、3月に民生委員・児

童委員がお宅に伺いお渡しします。

対象▼①村内に在住し、住民基本台帳に登録されている②前年度の主たる保護者の村県民税が非課税③4月に小中学校へ入学する——を満たし、▽父母または本人が障害者手帳を所持している▽母子世帯▽父子世帯▽父母以外のものに養育されている——のいずれかに該当するお子さんがいる世帯(生活保護世帯を除く)
給付金額▼1万円/人

東海村社会福祉協議会(総合福祉センター「絆」内)または社会福祉課(役場行政棟1階)備え付けの申請書に必要事項を記入の上、1月31日(火)までに申し込みください。
東海村社会福祉協議会(☎282局2804)

募集 福祉事業に協力できる店舗等を募集

「はり・きゆう・マッサージ施術所」
70歳以上の方や身体障害者手帳(1級2級)を持つ方を対象に配布している「東海村はり・きゆう・マッサージ等施術費助成券」を取り扱う施術所を募集します。
対象▼①あん摩マッサージ指圧師②はり師③きゆう師——のいずれかの免許を有し、村内に施術所を開設している方 ※国民健康保険法、社会保険各法に基づく医療に関する給付対象となっている施術を除きます。

「家族介護用品販売店」

寝たきりの高齢者等を在宅で介護している家族を対象に配布する「東海村家族介護用品購入費助成券」を取り扱う介護用品販売店を募集します。
対象▼村内の介護用品販売店

「毎日型配食サービス事業協力店」

65歳以上の独り暮らしの方等に定期的に食事を配達する「毎日型配食サービス事業」に協力できる飲食店を募集します。

対象▼①昼食または夕食を高齢者等の自宅に定期的に配達することができる②腸内細菌検査(O・157・サルモネラ菌・赤痢菌)の検査結果を確認できる③事業実施に伴う事故に備えるための損害賠償保険に加入できる——を満たす飲食店

「申・問」

2月3日(金)までに、介護福祉課高齢支援担当(内線1164)へ申し込みください。

「家族交流会」を開催

家族に心の病気を持つ方がいる村内在住の方を対象に、不安や悩みの相談や意見交換を行う「家族交流会」を開催します。

期日▼1月20日(金)
時間▼午後1時30分～3時30分
場所▼なごみ・総合支援センター
参加費▼無料

「なごみ総合支援センター(☎287局2525)」

ひとり親世帯のお子さんへ入学祝い品を差し上げます

茨城県母子寡婦福祉連合会では、村内在住で4月に小学校へ入学する子どもを養育している母子・父子世帯(ひとり親世帯)を対象に、入学祝い品(学用品)を差し上げます。

申1月31日(火)までに、社会福祉課子ども室(内線1185)へ申し込みください。 ※申込時に①住所②氏名③電話番号④子どもの名前・性別・生年月日——をお知らせください。
問茨城県母子寡婦福祉連合会(☎282局7505)

教養・スポーツ

東海村青年会のデイハイク

青年会では、これまでのナイトハイクにかえて今年は、デイハイクを開催します。家族や友達と村内を歩いてみませんか。

日時▼1月28日(土)午前10時から
場所▼総合福祉センター「絆」を起点とした、村内約20キロメートルのコース

参加費▼500円/人
その他▼1月20日(金)の午後7時から中央公民館で、事前説明会を行います。

申任意の用紙に▽代表者の氏名と電話番号(当日連絡できる電話番号)▽参加者全員の氏名と年齢——を記入の上、ファクシミリで1月19日(木)までに、東海村青年会事務局(青少年センター内 ☎282局7813)へ申し込みください。

問大内智弘さん(東海村青年会会長) ☎090・5308・9083

東海ワンコイン劇場2011

1月の上映は、感動の実話「はやぶさ」。日本から打ち上げられた小惑星探査機「はやぶさ」が、いくつもの絶体絶命の困難を乗り越えて地球に帰還するという奇跡を描いた作品です。ぜひご覧ください。



期日▼1月22日(日)
上映開始時間▼①午前10時 ②午後1時 ③午後3時50分 ※上映時間は2時間20分です。
場所▼東海文化センター
入場料▼500円/人(全席自由・3歳以上有料) ※前売り券の販売はありません。
問東海文化センター(☎282局8511)

募集

中央公民館講座受講生募集

【①ベリータダンス講座】

ベリータダンスの基礎となる腰や腹部の動きを学びます。

期日▼1月29日(日)、2月25日(土)、3月10日(土)・24日(土)(全4回)

時間▼午後1時～2時

対象等▼村内在住・在勤・在学で女性の方(20人)

講師▼カレンさん(ベリータダンスインストラクター)

【②オフィスで役立つマナーアップ講座】

ビジネスマナーとハイヒールの歩き方や笑顔の作り方などを学びます。村民相談室と共催で開催する講座です。

期日▼2月4日(土)

時間▼午後1時～3時30分

対象等▼村内在住で就職準備期の学生や社会人の方など(20人)

講師▼ジヨブカフェいばらき派遣講師、牧野修代さん(ウオーキングコーディネーター)

【③親子でヒップホップ講座】

親子で体を動かし、ヒップホップダンスを学びます。

期日▼2月18日(土)、3月3日(土)・17日(土)(全3回)

時間▼午後1時30分～3時30分

対象等▼村内在住・在勤の親と小学1・2年生の子(15組)

講師▼照沼梓さん(ヒップホップダンサー)

ンスインストラクター)

その他▼予約制保育サービスマン(無料)があります。

【①～③共通事項】

場所▼中央公民館

受講料▼無料

その他▼応募者多数の場合は抽選となります。

【申・問】

往復はがきに▽希望講座名▽住所▽氏名(ふりがな)▽性別▽年齢▽電話番号▽③へ応募する方は子どもの名前(ふりがな)・学年・保育サービスマン希望の有無(希望する場合は子どもの名前(ふりがな)・性別・年齢)を記入の上、1月19日(木)(消印有効)までに、中央公民館〒319-1115 船場768 ☎282局3329へ申し込みください。

人権教育講演会を開催します

日時▼1月28日(土)午後2時～4時

場所▼中央公民館

定員▼100人

演題▼「発達障がいの子の気持ち豊かな人間関係は相手を理解することから」

講師▼齋藤久子さん(筑波メディカルセンター病院小児科医長)

入場料▼無料

☎ 社会教育課生涯学習担当(内線1425)

その他



募集

東海村臨時職員募集

雇用期間▼4月1日から6か月(更新の可能性あり)
職種等▼

| 職 種 | 雇用要件 | 勤務時間等 |
|---------------------|--|--|
| A 幼稚園講師・幼稚園介助員 | 幼稚園教諭の資格を有する方 | ▼講師…週38時間45分(11人程度)▼介助員…週27時間(11人程度) |
| B 学校給食調理員 | 調理師の資格を有するまたは1回100食以上の給食施設でおおむね1年以上の調理経験がある方 | ▼週28時間45分(24人)▼週38時間45分(1人) |
| C 保育所保育士・すこやかハウス保育士 | 保育士の資格を有する方 | ▼保育所…週38時間45分(25人程度)▼すこやかハウス…週30時間(3人) |
| D 保育所調理手 | 調理師の資格を有する方 | ▼週20時間(1人)▼週38時間45分(3人) |

賃金等▼A・C：時給1070円、B・D：時給860円、共通：通勤手当を支給します。▼社会保険・雇用保険に加入します(週28時間45分)

以下の勤務者は雇用保険のみ。▼年次休暇があります。▼原則、週5日の勤務となります。

選考方法▼A・Bは2月4日(土)、C・Dは2月5日(日)に、面接試験を行います。※A～Dの重複受験はできません。

【申・問】1月27日(金)まで(土・日曜日を除く)の午前8時30分～午後5時15分に、履歴書(顔写真貼付)と雇用要件を証明できるものの写しを持参の上、A・Bは学校教育課、学校教育担当役場行政棟4階内線1414、C・Dは社会福祉課子ども室(役場行政棟1階内線1000)へ申し込みください。

「保護者セミナー」を開催

就職を考えている高校生や大学生などの保護者を対象に、キャリアアカウンセラーが県内企業の情報収集方法や採用担当者の本音をお伝えします。
日時▼1月22日(日)午後2時～4時
場所▼いばらき就職・生活総合支援センター(水戸市三の丸1-7-41)
定員▼先着35人
参加費▼無料
その他▼車でご来場の際は、無料利用券を発行しますので、旧・茨城県庁の駐車場をご利用ください。
【申・問】NPO法人雇用人材協会 ☎226局5062へ申し込みください。

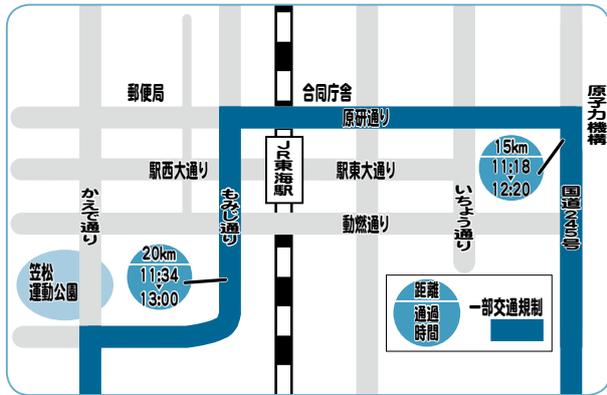
募集
コミュニティセンター嘱託員募集

業務内容▼コミュニティセンターの維持管理、地区自治会に関する事務等
募集人員▼センター長：4人 副センター長：1人 一般職員：10人
雇用要件▼①村内各コミュニティセンターに通勤できる②高等学校卒業程度以上の学力を有する③パソコンの基本操作ができる④土日曜日、祝日の勤務ができる⑤夜間の勤務(午後5時～9時30分)ができる——を満たす方
雇用期間▼4月1日から1年(更新の可能性あり)
報酬等▼センター長：月額15万円(週30時間勤務) 副センター長：月額14万円(週30時間勤務) 一般職員：月額7万7000円(週22時間勤務) 共通：▼通勤手当を支給します。▼社会保険・雇用保険に加入します(一般職員は雇用保険のみ)。▼年次休暇があります。
選考方法▼面接試験、作文「災害時のコミュニティセンターのあり方」(自筆で800字程度)
試験日▼2月21日(火)
申・問▼1月31日(火)まで(土日曜日を除く)の午前8時30分～午後5時15分に▽履歴書(顔写真貼付)▽作文——を持参の上、自治推進課自治推進担当役場行政棟2階内線1272へ申し込みください。

となりのまちから

ひたちなか市 ● 勝田全国マラソン大会に伴う交通規制にご協力を!

「勝田全国マラソン大会」の開催に伴い、国道245号等の一部の道路を出場選手が通過します。この時間帯は、交通規制が実施されますので、皆さんのご理解とご協力をお願いします。
日時▼1月29日(日) 午前10時30分スタート
問勝田全国マラソン大会事務局(ひたちなか市生涯学習課内 ☎262局5615)



笠間市 ● かさまの陶雛〜桃宵〜

笠間焼の陶雛(とう雛)人形の展示販売を行うほか、門前通りでは吊るし雛等に出会うことができます。また、通り沿いの飲食店では、ひな祭りにちなんだ料理やお菓子もありますので、ぜひお越しください。
期間▼1月25日(水)～3月3日(土)
場所▼笠間稲荷門前通りほか(笠間市笠間)
問社団法人笠間観光協会(☎0296・72・9222)

笠間市 ● クールシユヴェール国際音楽アカデミーinかさま

今回の「クールシユヴェール国際音楽アカデミーinかさま」は、東日本大震災復興支援チャリティーコンサートと位置付け開催します。
期日・出演者▼3月17日(土)：パスカル・ドゥヴァイヨン & 村田理夏子(ピアノ) 3月18日(日)：青柳晋(ピアノ) 3月20日(火・祝)：若林頭ほか県内のオーケストラ
場所▼笠間公民館(笠間市石井2068・1)
その他▼出演者等が変更になる場合があります。
問クールシユヴェール国際音楽アカデミーinかさま実行委員会事務局



城里町 ● 総合野外活動センター

各施設とも、2月1日(水)から平成24年度分の予約を受け付けます。
「うぐいすの里」
 広いグラウンドや長い滑り台等、遊べる施設が盛りだくさん。バーベキューもでき、夜は、キャビン・バンガロー・テントと目的に合わせて施設を選んで宿泊できます。
申・問「うぐいすの里」管理事務所(☎289局4321)
「ふれあいの里」
 オートキャンプ場をはじめとする宿泊施設が充実しています。近くには、温泉や温水プールなどを備えた健康増進施設「ホールの湯」もあります。また、400ミリ反射望遠鏡を備える天文台での星空観望会等、1年を通じてさまざまなイベントを開催しています。
申・問「ふれあいの里」管理事務所(☎288局5505)

「山びこの郷」

山のふもとの生い茂る森の中で、アウトドアを満喫できます。地元名産のうどん・そば・コンニャクの手作りが体験できるのも魅力の一つです。
申・問「山びこの郷」管理事務所(☎0296・88・3157)



村松 松 幼稚園 ● 南方心寧 ちやん

“ブタの丸焼き”

鉄棒で“ブタの丸焼き”をしているところを描いてくれた心寧ちゃん(6歳)。「鉄棒にぶら下がると空の世界に行っている気がするよ!」というお気に入り——空も雲も、飛行機もぐんと近くに見えるそうです。

ぼくの夢 Dream-130 わたしの夢



夢は…。 “音楽家”

白方小学校6年 ● ケイコ ウィディヤニサ

私は音楽家になりたいです。第5回と第6回の「東関東学生ピアノコンクール」で優秀賞を受賞してから、“ピアニスト”になりたいと思いました。また、学校の金管バンド部ではユーフォニウムを担当していることやバイオリンのレッスンを受けていることから、“ユーフォニウム”や“バイオリニスト”にもなりたと思っています。

ピアノは繊細な音を出すため、高い指の技術が必要です。ユーフォニウムの長所は音色が良く、音が響きます。バイオリンは音を自分で探す必要がありますが、いい音を見つけて演奏するとカッコいいなと思います。

私は音楽が大好き。音楽は、私の親友のように留守番をしている時、悲しい時に心を慰めてくれます。将来、音楽家になったら素晴らしい音楽の演奏を披露して、みんなを楽しませたいです。そのために、良い曲が作曲できるように音楽の勉強を頑張りたいと思います。

成人の日 インタビュ

表紙の「ひと」 益子由佳さん



今年度、成人される皆さん、おめでとうございます。今回は、新成人をお祝いする企画として「2012東海村成人の集い」実行委員会副実行委員長の益子由佳さんにインタビューしました。

——自己紹介をお願いします。
私は、東海村に生まれ、東海村に育てられたと思っています。現在はひたなか市にある株式会社大倉商事で、産地から直送された野菜を仕分ける仕事をしています。皆さんに品質の良い野菜を届けるため頑張っています。時間があるときは、音楽を聴くのが趣味です。

——この20年間を振り返って…
小さい頃は、人見知りで自分から話し掛けることは苦手でした。でも、小学生になって、下校途中に立ち寄ったコミュニティセンターのおばちゃん(おねえさん…)が笑顔で「おかえり」と優しく声を掛けてくれたり、近所の駄菓子屋のおじちゃん(おじいちゃん)の名前を覚えてくれたりすることがうれしくて、いつの間にか、人と関わるのが好きになっていました。気が付けば、身近にいた方々に、いろいろなことを

教えられる助けられたなと思います。
——成人を迎えての感想は？
ついに大人の仲間入りだなという思いです。すでに社会人としてスタートしていましたが、これからは周りからも、本当の社会の一員として見られるので、責任ある行動を心掛けていきます。
——ご両親に対して一言
今までたくさん迷惑を掛けてごめんなさい。いつも温かく見守ってくれていたことに感謝しています。これからは、親孝行をいっぱいするからね。
——東日本大震災後の成人式となりますが…
東海村も被災地ですが、成人式を例年通りみんなで行えることが本当に良かったと思います。
——これからの夢や抱負は？
いま任せられている仕事に全力を注ぐことです。そして、パソコンに関する資格などを取得し、その技術を仕事に生かしたいです。あとは…おいしいご飯が作れるママになりたいと思います!
——今後のご活躍を期待しています。ありがとうございました。